近森病院　言語療法科

科長　井上浩明

概要

近森病院言語療法科は、2024 年当初 6 名体制で運用を開始した。1･7・8 月に 1 名ずつ育児休業から復帰した。11 月より 1 名産前産後休業に入り、8 名体制での運用となっている。臨床面では、他部署からの協力を得て連携・協業を強化し、ST の専門的な業務に特化できるよう調整した。業務面では、カルテ記載方法や事務作業の削減を定期的に実施し、業務時間の短縮に努めた。教育面では、前年に引き続き組織的に専門資格取得に取り組み、必須講座の受講などを促した。学生指導では、長期実習生 3 名の指導を行った。

業務実績

入院・外来患者処方数は、1080 件（前年 1177 件）であった。月別処方数を図 1、月別実施単位数を図 2 に示す。上記の通り、ST の専門性に特化した介入を実施し、脳血管単位が増加した。

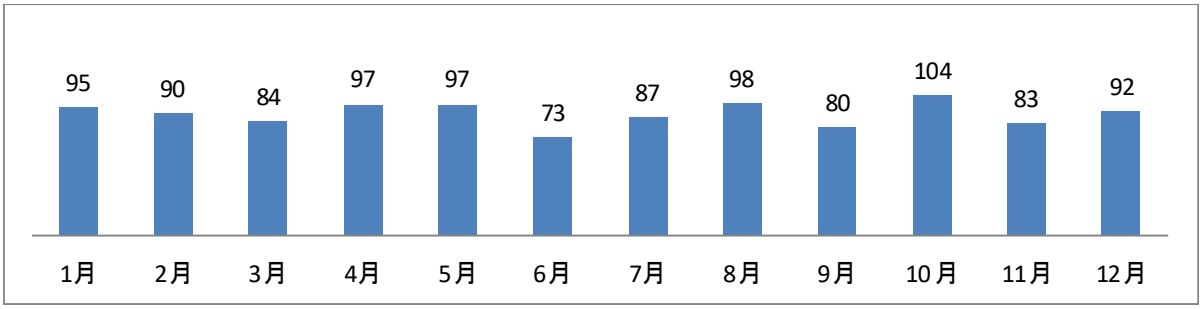
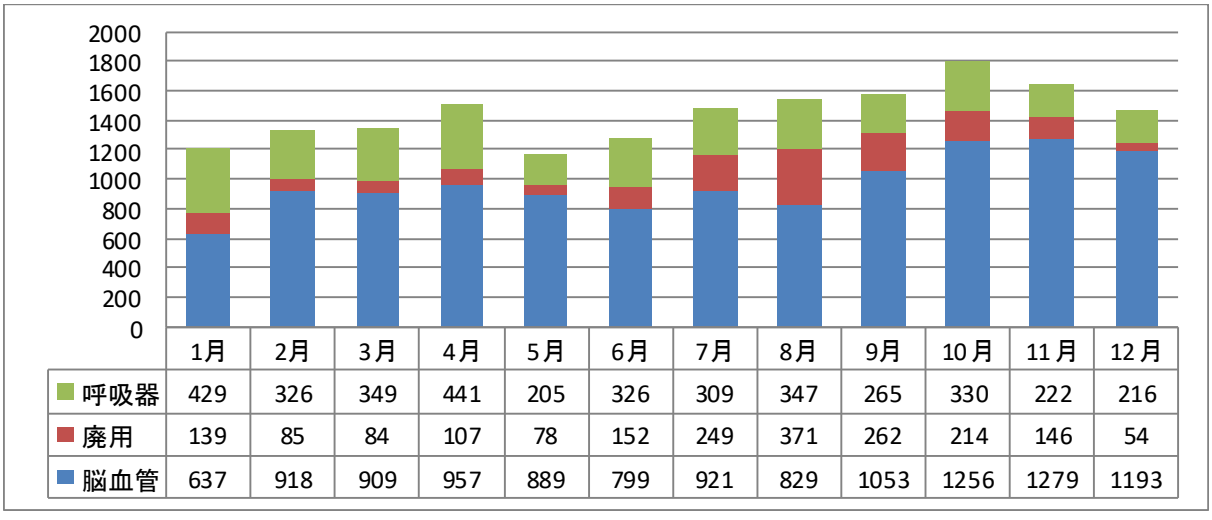


図 1.　月別処方数



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
呼吸器	429	326	349	441	205	326	309	347	265	330	222	216
廃用	139	85	84	107	78	152	249	371	262	214	146	54
脳血管	637	918	909	957	889	799	921	829	1053	1256	1279	1193

図 2.　月別実施単位数

終わりに

2024 年は、昨年の人員減の際に構築した他部署との連携を強化し、ST の専門性に特化した働き方を提供できた。今後も、継続して業務工夫・改善を行い、患者様・スタッフともに有益となるような体制を構築していきたいと考える。